

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会 衛星業務委員会（第6回） 議事概要

1 開催日時

平成22年6月9日（水）午後2時～4時10分

2 場所

総務省8階 第4特別会議室

3 出席者

(1) 専門委員（主査を除き五十音順、敬称略）

加藤 寧（主査）、阿部 宗男、小川 博世、加保 貴奈、河合 宣行、大矢 浩、
鈴木 龍太郎、堂前 光洋、徳永 恒子

(2) 関係者及び説明者（五十音順、敬称略）

稻村 賢治（スカパーJSAT）、今井 一夫（B-SAT）、小坂 克彦（NICT）、鈴木 祥生（JRANSA）、曾根 裕（JAXA）、立岡 良夫（NHK）、田中 祥次（NHK）、谷田 尚子（NTTドコモ）、土田 健一（NHK）、三國 嘉之（国土交通省）

(3) 事務局

成瀬課長補佐、丸橋係長、西官（以上、衛星移動通信課）

佐藤係長、齋藤官（以上、宇宙通信政策課）

4 議事

(1) 衛星業務委員会（第5回）の議事概要（案）について

(2) ITU-R SG4関連会合の報告書（案）について

(3) ITU-R SG4関連会合への日本寄与文書（案）について

(4) ITU-R SG4関連会合への外国寄与文書審議表（案）について

(5) ITU-R SG4関連会合への対処方針（案）について

(6) その他

5 議事概要

(1) 衛星業務委員会（第5回）の議事概要について

資料衛6-1に基づき、衛星業務委員会（第5回）会合の議事要旨について、事務局から説明が行われ、特段の意見がある場合は、平成22年6月16日までに事務局あて連絡を行うこととなった。

(2) ITU-R SG4 関連会合の報告書（案）について

資料衛6-2に基づきWP4A及びWP4B（第5回）会合の結果について、小川専門委員（ARIB）から、WP4C（第5回）会合の結果について事務局から報告が行われ、下記の質疑応答の後、承認された。

阿部委員：WP4CからSG4へ上がったのはレポート1件のみか。

事務局：そのとおり。

(3) ITU-R SG4関連会合への日本寄与文書（案）について

主査より、各寄与文書案は各WGで承認された文書である旨説明が行われた後、各寄与文書（案）について下記のとおり審議が行われた。

【資料衛6-3-A-1】

立岡氏（NHK）からWRC-12議題1.13のCPMテキスト案の修正提案（資料衛6-3-A-1）について説明があり、特段の質疑無く承認された。

【資料衛6-3-A-2】

今井氏（B-SAT）から、新勧告草案第一地域及び第三地域における21.4-22 GHZBSSのための参考受信地球局アンテナパターン（資料衛6-3-A-2）について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

堂前委員：7ページ以降のアンテナパターンについて、性能がかなり良いが。

今井氏：これはNHKで試作品として作ったもの。勧告化に当たっては他国的情勢をみて慎重に判断をしていきたい。

立岡氏：補足であるが、例えば11ページの120cmのアンテナの性能について、3度の値がマスクぎりぎりになっているなど、全てで余裕があるというわけではないので、この辺も勘案して進めていきたい。

【資料衛6-3-A-3】

河合委員（KDDI）から、勧告S.729の一新に向けた作業文書VSATの監視及び制御機能（資料衛6-3-A-3）について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

阿部委員：3ページ以降のANNEXは新規の内容で、これを議長報告に作業文書として残すというのが具体的な提案ということか。

河合委員：そのとおり。その際、改訂という形にするのか新規という形にするのかはWPIにおける検討の中で様子を見ながら慎重に進めていきたい。

堂前委員：ローミングなどは想定されないので。

河合委員：移動をすればゆくゆくはそういうことも出てくると思うが、現段階ではそういう細かいことはまだ記載していない。

【資料衛6-3-B-1】

河合委員（KDDI）から新勧告草案S.[IPQOS-RPT]に向けた作業文書衛星IPパケットアプリケーションシステムのためのトラフィック操作（資料衛6-3-B-1）について説明があり、特段の質疑無く承認された。

【資料衛6-3-C-1～3】

曾根氏（JAXA）から、5GHz帯RNSSと5000-5010MHz帯へ提案されているAM(R)S間の両立性検討に関するWP5Bへのリエゾン返信提案（資料衛6-3-C-1）、ITU-R新勧告案M.[E-S TX+RX]の提案（資料衛6-3-C-2）及びITU-R新勧告案M.[S-E RX+TX]の提案（資料衛6-3-C-3）の3件について説明が行われ、以下の質疑応答の後修正を行う場合はメール審議を行うこととなった。

（資料衛6-3-C-1）

阿部委員：5ページのC/N₀は方法論の話なのか、それともパラメータの話なのか。説明を見ると、C/N₀+I₀の議論のように感じる。

曾根氏：後ほど確認することとしたい。

【資料衛6-3-C-4】

三國氏（国土交通省）から、WRC-12議題1.7に関するCPM文書の要素の修正（資料衛6-3-C-4）に関する説明が行われた後、特段の質疑無く承認された。

【資料衛6-3-C-5】

曾根氏（JAXA）から、ITU-R暫定新報告草案M.[MSS-SHARING]に向けた作業文書及

びWRC-12議題1.25のCPMテキスト案の修正提案（資料衛6-3-C-5）について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（資料衛6-3-C-5）

阿部委員：確認となるが、25ページの”Currently … “のパラグラフは削除せずに残すということですか。

曾根氏：然り。削除の表記となっているが元に戻すこととなる。

小川委員：本寄与文書はレポートの修正提案であるが、そもそも次回会合でレポートを審議する時間はあるのか。

小坂氏：審議時間はある。CPMテキストはレポートのサマリーであるので、CPMテキストの審議と並行してレポートの審議も行うこととなる。

小川委員：前回の会合ではレポートの審議は行ったのか。

小坂氏：審議は行った。

【資料衛6-3-C-6～7】

土田氏（NHK）から、ITU-R新報告草案M.[MSS-Sharing]の修正提案7055-7250MHzと10.5-10.6GHz帯におけるBASとMSSとの共用（資料衛6-3-C-6）及びWRC-12議題1.25に関するCPMテキスト案の修正提案（資料衛6-3-C-7）について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（資料衛6-3-C-7）

河合委員：本寄与文書の提出の背景を確認したい。5月のWP5C会合では日本から寄与文書を入力し、それを踏まえた上でWP5CからWP4Cにリエゾン文書が送付されたが、レポートの修正やCPMテキストの修正が含まれていなかつたので、今回日本から入力するということか。

土田氏：WP5Cからのリエゾン文書では、CPMとして含まれているものと、今回の寄与文書でハイライトされている部分が別々のAnnexとなって送付されているが、今回はこれらを統合して送付した。今回完全に修正したのはテーブル14及びテーブル15の数値が新しくなっていたため、これを計算結果を入力している。

河合委員：では、一部重複している部分もあるということか。

土田氏：本文が重複しているということになる。

阿部委員：CPMの修正案について、JAXAの寄与文書とNHKの寄与文書は同じ議題1.25のCPM修正案となっている。これでは日本から二つのCPM修正案を提出することとなってしまうが、どのように対処するつもりか。

小坂氏：移動衛星ワーキンググループでも本件の取扱いは問題となった。ただし、JAXAとNHKは別々のサブジェクトを対象としていること、これらの寄与文書が議題1.25の同じDGで審議されること、かつ本DGの議長は当方が担当することを踏まえれば、適切に対処することができるだろう。

阿部委員：これら二つの寄与文書の中には参照文書の記載はあるのか。

土田氏：C-5のJAXA寄与文書では9ページ目の脚注に記載され、C-7のNHK寄与文書ではカバーページに記載されている。

（4）ITU-R SG4関連会合への外国寄与文書審議表（案）について

SG4関連会合への外国寄与文書審議表のうち、対処の評価がB以上のものについて事務局から説明が行われ、以下の質疑応答の後、修正するものについてはメール審議が行われることとなり、それ以外の審議表は承認された。

（4B/132-E）

小川委員：寄与文書を出すといっているが、本リエゾン文書に対するものか。

立岡氏：然り。勧告の改訂案に対する修正提案をアタッチするものである。

阿部委員：内容に異存はないが、二点目についてすべてのBSSのアップリンク及びフィーダリンクがすべてのSNGで利用可能というのは不適切という意味であると思う。

立岡氏：今までの勧告では、FSSのサービスがSNGの業務としてしか書いていなかった。新勧告では、BSSで臨時に運用するものもSNGと呼ぼうということとSNGの運用帯域をBSSのフィーダリンクに追加する提案が出された。

阿部委員：BSSのフィーダリンクをSNGに使うということはすべての場合に利用可能ではないのか。

立岡氏：BSSのフィーダリンクとSNGの目的は違う。

阿部委員：その旨は追記したほうがよいのでは。

立岡氏：そのとおりで、意見の二点目がその旨を表している。

稻村氏：意見の三点目に、G/T値について「一般的に0dB/Kを使っており」と記載されているが、一般的と言える根拠はあるのか。

立岡氏：関係者に照会して確認した結果を踏まえ、一般的に0dB/Kという表現となつたが、スカパーJSATでは違う値を用いて運用しているということであれば表現を改めたいと思う。

稻村氏：もちろんG/T値に0dB/Kを使用する場合もあるが、それより値がよいものもある。

立岡氏：ご意見を踏まえ、該当箇所の表現を改めたいと思う。

(5) ITU-R SG4関連会合への対処方針について

SG4関連会合への対処方針について事務局から説明が行われ、エディトリアルな指摘の後、特段の質疑なく承認された。

(6) その他

【参考資料1～5】

事務局から参考資料に基づき説明が行われた。また、今後公表される外国寄与文書の対処については、各WGでの対処方針を基に対処していくが、特に審議が必要と思われるものについては、衛星業務委員会においてもメール審議をお願いする旨の連絡があった。最後に、事務局から無線通信規則委員会（RRB）の委員に我が国からKDDIの伊藤泰彦氏が立候補する旨が述べられ、専門委員及び関係者のサポートが要請された。

以上

配付資料

資料 衛6-1	衛星業務委員会（第5回）の議事概要（案）
資料 衛6-2	ITU-R SG4 関連会合の報告書（案）
資料 衛6-3	ITU-R SG4 関連会合への日本寄与文書（案）
資料 衛6-4	ITU-R SG4 関連会合への外国寄与文書審議表（案）
資料 衛6-5	ITU-R SG4 関連会合への対処方針（案）
参考資料1	衛星業務委員会の関連WGの審議報告
参考資料2	ITU-R SG4関連会合の開催案内
参考資料3	ITU-R SG4関連会合の日本代表団一覧（予定）
参考資料4	ITU-R SG4関連会合の開催日程
参考資料5	衛星業務委員会専門委員名簿（平成22年6月現在）